



NO. 820
2004年5月21日

THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

ROTARY: Lend a Hand

「ロータリー：手を貸そう」

2003～2004年度・国際ロータリーテーマ／ジョナサンB.マジアベ会長

「楽しいロータリー — 手に手、心から心へ輪を広げよう —」

2003～2004年度・東京新南ロータリークラブテーマ／西澤正雄会長

【本日の例会】2004年5月21日 第840回例会

◎卓話

「『奉仕の哲学』を翻訳して」

元当クラブ会員(チャーターメンバー) 株式会社宮本工業所代表取締役 宮本正祥氏
(紹介者 開発会員)

【前回報告】5月14日 第839回例会

◎卓話 イニシエーションスピーチ

「天職に出会うまでの半世紀

— マーケットリサーチの楽しみ —

当クラブ会員

(株)インサイトリサーチ代表取締役 松永秀和君

◎会長報告

山川政樹会員には、永年のご功労、ご功績が認められ旭日中授賞を受賞されましたことは、誠にめでたい限りで、深く敬意を表します。クラブとしても大変誇りに思うことで、心ばかりの記念品を贈呈いたします。その後、山川会員より答礼がありました。

◎幹事報告

国際大会へ登録された会員の方々へ、当日のプログラム等詳細な案内をお配りしました。既に「名札」等はお渡し致しております。大会にご出席の際、その「名札」をお忘れなくお持ちになって下さい。よろしくお願い申し上げます。

◎出席委員会報告(庄司委員長)

4月度の出席率が85.52%と好成績であった。これで今年度に入って各月とも80%以上の高い数字を維持している。

◎職業奉仕委員会(開発委員長)

次回の例会で卓話を行う宮本正祥元会員の紹介があった。

◎バナー交換

本日のビジターの S. Matthews 氏の Alexandria Virginia RC (U.S.A) とバナーの交換を致しました。

◎慶事披露

誕生日祝／尾上寛君 (5月20日)

◎出席報告

会員64名／出席44名・欠席20名(出席規定免除者8名)
ビジター3名

【次週予告】5月28日 第841回例会

◎卓話予定

「最近の中国進出事情」

(株)みずほコーポレート銀行 顧問 菅野真一郎氏
(紹介者 西澤正雄会長)



5月7日 / 13件 35,000円

2003～2004年 累計 1,222,649円

多額のご寄付を有難うございました。(敬称略)

山川政樹／お祝いを頂きありがとうございます。尾上寛／誕生日お祝い有難うございます。勝山洋光／2ヶ月ぶりの例会出席となってしまいました。その間誕生祝いを頂きました。松永秀和・渡部一元・福島賢哉・入沢頼二・圓谷正和・石井謙次・藤後幸生・清水實・高須康有・田村廣治／(紙面の都合でコメントを省略させて頂きました)

R I 第2750地区2004～2005年度地区協議会

(先週に引き続き)

第四分科会／社会奉仕部会

次期社会奉仕委員長 岩上 義明

第四分科会は、岩井 敏 パスト・ガバナーの挨拶で始まり、第一部は基調講演 社会福祉法人 プロップ・ステーション 理事長 竹中 ナミ氏による「障害者を納税者に」のテーマで約一時間、その後地区内7グループに分かれて講演内容と各クラブの社会奉仕活動についてのグループディスカッションが行われた。第二部は、RC100周年社会奉仕プロジェクトについての討議が開催された。

特に、竹中 ナミ氏の講演は興味深く拝聴させて頂いた。障害者と呼ぶよりCHALLENGED (チャレンジド)。その人の中にある可能性を引き出そうという発想は深く共感を覚えた。今後の社会奉仕活動に多いに参考にさせて頂きたく思う。

第六分科会／新世代部会 次期新世代委員長 土屋 東一

1. テーマ

- (1) 新世代委員会全体について
- (2) 新世代委員会本年度の現状報告
- (3) インターアクト委員会について
- (4) ローターアクト委員会について
- (5) 青少年交換委員会について

2. 進行状況

- (1) 挨拶・新世代委員長 海沼美智子氏(東京恵比寿RC)
- (2) 新世代委員会本年度の現状報告・2003-4年度新世代委員長 高瀬英夫氏(東京国立RC)
- (3) インターアクト委員会について・インターアクト委員長 森田光一氏(東京大森RC)
- (4) ローターアクト委員会について・ローターアクト委員長 北星勝氏(東京小金井RC)
- (5) 青少年交換委員会について・青少年交換委員長 加藤節夫氏(東京品川RC)

(6)質疑応答

3. 前記委員長挨拶の要旨

(1)「新世代」の意義・目的等について

- ・1923年、セントルイス国際大会で「善良で健全な市民を育てる」青少年奉仕活動が討議され、当初社会奉仕委員会の青少年奉仕小委員会として発足し、1996-97年度より「新世代」(New Generation)に変更
- ・ロータリーでの「新世代」とは、赤ちゃんから30才までの人
- ・青少年のリーダーシップ、奉仕の精神、国際理解、責任感を育てることを目的とし、「各ロータリアンは青少年の模範」と言う標語を尊重し、行動することを奨励

(2) 2750地区の新世代委員会の構成について

① インターアクト委員会

- ・ユースアクトクラブ(10才-14才)及び、インターアクトクラブ(14才-18才)
- ・奉仕活動と国際理解

② ローターアクト委員会

- ・18才-30才
- ・リーダーシップ・道徳の育成、奉仕・世界平和の推進

③ 青少年交換委員会

- ・高校生の国際交換(1年間)

(3) 2004 / 2005年度の新世代委員会の活動の柱について

① 薬物乱用防止活動

- ・個人、クラブ、グループ、IMなどで社会奉仕委員会等、他の委員会活動ともジョイントして

② 日韓親善交流

- ・地区国際奉仕委員会、日韓親善委員会、IA委員会、RA委員会とのジョイントプログラム
- ・2750地区と韓国の3650地区との青少年及び、教師たちの短期交換交流 派遣・7月25日(日)~31日(土)、受入・8月2日(月)~8日(日)予定

③ その他

- 心の東京革命への協賛
- 地域学校(公立中学校等)への講師派遣

第七分科会／ロータリー財団部会

次期国際奉仕副委員長 福島 賢哉

部会は、①寄付は何のためにするか②補助金委員会の役割③寄付金委員会の役割④国際親善奨学生との交換について⑤ポリオプラスについて⑥GSEについて、の6項目について説明があり熱心に討議された。初めに加来浩二次期地区ロータリー財団委員長の開会挨拶に加え①では、「財団＝寄付」と思われがちだが、奉仕が前提「まず奉仕ありき」と考えたい。各クラブは、補助対象となる次年度の奉仕活動の方針策定を検討願いたい。年次寄付の目標総額は46万ドル。次年度補助は、3年前の寄付額の50%が地区と各クラブで使えその内、人道的な、教育的なプログラムには夫々50%を予算化、他に国際平和プログラムにも予算確保をする。このため次年度からは、財団年次寄付「年間1人100ドル運動」を掲げ、実践活動を展開願いたい、10年継続後には、ポールハリスフェローとなる。マルチプルも奨励。寄付の詳細は、近日中に配布予定「ロータリー財団の友」(問合先:RCセンター RC財団事務局担当片岡氏)のパンフレットを参照。

②補助金プログラムについて福井委員長は、補助承認事例を参考にプロジェクトの立ち上げし申請してほしい。毎月10

日締め切り、申請から補助交付まで1か月程度に短縮された。

③当クラブからの馬場寄付金委員長は、「奉仕は与えるもの」であり財団への寄付は強制ではないが、クラブの自主性、選択、決定権を尊重しつつ、積極的で自由な寄付は奉仕の理想に基づいている。次年度寄付目標額は46万ドル、恒久寄付ベネファクター80名を目標。

④伊藤財団奨学委員長は、R財団国際親善奨学生派遣を次年度8名を、次々年度派遣候補10名が決定している。奨学生へのフォローをお願いしたい。

⑤佐々倉ポリオ委員長は、次年度は世界中からポリオ撲滅を目指すRIの最終年度の年。当地区では3年前から年間25万ドルずつ計75万ドル寄付を展開。次年度は、1人5,000円をクラブ予算化し地区の25万ドルとしたい。なお、ポリオプラスは小児麻痺のほかハシカ、百日咳、ジフテリア、結核、破傷風の五伝染病。ポリオはあと1%の撲滅を残すまでとなった。

⑥峯GSE委員長は、GSE(Group Study Education)はおおよそ4~6週間の職業人の短期研修交換派遣制度で次年度は、4名編成1チームで25~40歳までの事業者(RC会員1名+3名)を、参加国受入れ機関との相互派遣を行う。費用補助は、地区予算内の往復旅費のみであり滞在費は、本人負担。

第八分科会／米山奨学部会 次期国際奉仕委員 石井 謙次

米山奨学部会はテーマを6つ掲げ、竹腰米山奨学委員長をリーダーに開催された。

テーマ1、地区奨学委員会の役割、竹腰委員長より米山梅吉翁の紹介と当時の世相などについて紹介があり、地区別、国別、大学別、地区採用数などのあけ地区奨学委員会の役割説明があった。

テーマ2、3、(財)米山記念奨学会とは、(財)米山奨学会の現状、(財)ロータリー米山記念奨学会宮崎常務理事から米山梅吉翁が影響を受けた4名の人物の紹介又ポールハリスと米山梅吉翁が同年であった事などが紹介された。各世話クラブのカウンセラー制度の案内があり、米山梅吉翁の精神を学んだ奨学生が帰国して母国での活躍している姿などが紹介された。

テーマ4、米山奨学生卓話、米山奨学生を終えてとして陳曉楠(中国)さんよりカウンセラー(恵比寿RC)との心と心のふれあい又想いのある交流に大変感動しお世話になった事就職の際にもあれこれ気遣いを受け大変心強かった事などを話された。

米山奨学生になって(ウズベキスタンで初めての奨学生)バビディノフ・マンズル(ウズベキスタン)さんより母国ウズベキスタの紹介、将来の方針、なぜ日本を留学先に選んだかなどが話された。

お二人とも大変美しく丁寧な日本語を話されているのが印象深かったこと、そして将来は日本と母国の架け橋になりたいとの事でした。

テーマ5、米山奨学生選考の現状とカウンセラー制度 関米山選考委員長より米山奨学生決定までの過程(大学の推薦制度の内容)、ホームページの紹介、などがあった。

テーマ6、次年度における増進の目標とお願い 吉井米山増進委員長より寄付金納入明細総合表、寄付金納入明細書(グループ別)など資料を元に説明があった。

～地区協議会の報告は次週号へ続きます。～

東京新南ロータリークラブ [http://www.h3.dion.ne.jp/~newsouth]

〔会長〕西澤正雄 〔副会長〕小杉真史 〔幹事〕村山公士 〔会報委員長〕石井謙次 〔今週の担当〕庄司泰典
事務局／〒107-0052 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階 TEL: 03-3505-5976 FAX: 03-3505-6004 new-south@h9.dion.ne.jp
例会日・例会場／毎週金曜日 12時30分 東京全日空ホテル 〒107-0052 東京都港区赤坂1-12-33 TEL: 03-3505-1111